

## ゴミ減少計画とリサイクル、エコ推進について問う

備前島 久仁子 議員



**Q** 町の可燃ゴミと粗大ゴミは、ここ10年でどれほど増えているか。また、家庭から出るゴミの85〜90%が食材の容器やビニール・紙だが、それらのリサイクルをどうしているか。

**A** 生活環境安全課長

ここ10年で可燃ごみは4割、粗大ゴミは6割増えている。容器は、来年から全町で白色トレ

**Q** 町の指定ゴミ袋は、1枚約10円。しかし、町への還元金は1円もない。燃やすためだけに指定袋を購入するのは無駄ではないか。

**A** 課長 町外のゴミや不法投棄のゴミと、

町内のものを区別するため指定袋を導入している。素材は、ダイオキシンの発生しにくいポリエチレンを使用している。

**Q** 先日、町内のスーパー4店舗でエコ対策やリサイクル方法を伺った。各店頭にはリサイクルボックスを設置し、マイバック・マイカゴキャンペーンにも積極的。町も量販店と手を結び、町内でのゴミを資源としてリサイクルできないか。

**A** 町長 現時点では難しいが、環境負荷を軽減したい。

**Q** ゴミ袋として使えるレジ袋を、町と量販

**Q** 店で共同開発したらどうか。

**A** 課長 その支店だけのレジ袋でないで難しいと思う。

**Q** 町でも、太陽光発電を起すなど、自然エネルギーを取り入れたエコ推進に積極的に進めることはできるか。

**A** 町長 新設される玉村中学校には太陽光パネルをつけ、環境教育をしていく。



スーパーの店頭で置かれているリサイクルボックス

## 臨時職員への退職金支給問題について

村田 安男 議員



**Q** 玉村町一般職の臨時任用職員等の勤務条件に関する規則第11条第3項では、これら職員に退職手当は支給しないとあるが。

**A** 町長 玉村町の規則では支給しないとなっているが、上位法である群馬県市町村総合事務組合退職手当支給条例では、1カ月の勤務日数が18日以上あ

る月が連続12月以上ある場合、職員とみなし規則を適用するとある。

**Q** なぜ、12カ月を超えてる任用となってしまうのか。

**A** 町長 1年を超えない任用をしていたが、それを繰り返していたため、継続任用とみなされ、結果的に支給することとなった。

**Q** これら職員の今後の任用について、どのように考えているか。

**A** 町長 行政サービスを下させず、現在働いている職員の、雇用の安定を図れるような手法を検討していきたい。

**Q** 住民サービスの向上として、窓口時間の延長、休日窓口の開庁が多くの自治体で進められているが。

**A** 町長 現在、玉村町でも毎週月曜日に午後7時まで、住民課などの一部業務について実施している。

日曜日の開庁についても、住民異動が増加する時期などを中心に検討中である。



週1回延長窓口を実施している税務課収税室

## 都市計画の見直しに早く着手すべきではないか

島田 榮一 議員



**Q** 都市計画の見直しに向けて、マスタープランなどの再検討が必要ではないか。

**A** 町長 平成21年の定期見直しに向けて、住居系、工業系など、用途地域の精査と課題整理を含め、検討していきたい。

**Q** 少子高齢化社会のなかで、道路行政は遊歩道やサイクリング道路

**A** 町長 都市計画の線引きの見直しに向け

**Q** 東部工業団地の拡張についての進捗状況はどのようになっているか。

**A** 町長 町民の健康増進のため、利根川、鳥川沿いのサイクリングロードから町内の公共施設史跡名所を結ぶサイクリング道路および遊歩道を計画推進中である。

**Q** 建設を優先すべきではないか。

**A** 町長 町民の健康増進のため、利根川、鳥川沿いのサイクリングロードから町内の公共施設史跡名所を結ぶサイクリング道路および遊歩道を計画推進中である。

**Q** 中央公民館用地とJ Aたまむら支所用地との等価交換により、行政ゾーン計画の進展が見られる。住民に公民館不在の不満を与えないためにも、よりよい会館を早期に建設すべきである。

**A** 町長 玉村 建設など大プロジェクトが控えているが、町民が親しめる複合施設の建設に向けて、着実に事業を進めてまいりたい。

**Q** 玉村町にはいじめ問題があるのか。あるのなら教育委員会ではどのような対策を採っているのか。

**A** 教育長 玉村町においてもいじめはある。10月から11月にかけて、すべての学校で行った「いじめの問題に関する緊急点検」の結果、平成18年4月から現在まで、学校がいじめと認識した事案は99件あった。99件のうち、すでに解消したものが47件、指導中の事案が52件となっている。

## 子供のいじめについて問う

関口 祝嘉 議員



**Q** いじめ問題で自殺者が全国で連鎖反応的に起きている原因はどこにあるのか。

**A** 教育長 学校をはじめ、家庭や地域がいじめられている子供たちをしつかり受け止め、親身になった対応が不十分だったため、心にたまっていった思いが一気に噴出したのではないかと考えている。

**Q** 玉村町にはいじめ問題があるのか。あるのなら教育委員会ではどのような対策を採っているのか。

**A** 教育長 玉村町においてもいじめはある。10月から11月にかけて、すべての学校で行った「いじめの問題に関する緊急点検」の結果、平成18年4月から現在まで、学校がいじめと認識した事案は99件あった。99件のうち、すでに解消したものが47件、指導中の事案が52件となっている。

**Q** いじめの内容については、からかい、悪口、仲間はずれなど、「言葉や態度」によるいじめが多いが、物を隠す、暴力、金品の要求などのいじめもあった。基本的には心豊かな人間性や社会性の充実、また教育相談の連携・協力体制を充実させて、児童生徒の理解に立った生徒指導を確実に推進することが「いじめの予防、早期発見、早期対応」につながると考えている。

**A** 教師の暴言や、問題のある言葉遣いが決していないように、学校長を通じて指導したところである。



期待される行政ゾーン用地

